

平成22年度 第3回成果発表会

# 被災者生活再建支援システムにおける 情報セキュリティの確保

新潟大学 災害復興科学センター 特任助教 井ノ口 宗成

# 現場における情報セキュリティの課題

- 増え続ける紙資料の管理が大変
- 詳細内容を確認する際、検索が難しい
- 情報セキュリティの確保が必要（求められる）



# C.I.Aの保持のための体制・制度の構築： C.I.Aの観点からの現状の情報処理システムの 検証



## 被災者生活再建支援システムの 情報セキュリティの確保

# C.I.A間の対立

C(機密性)



機密性を高めると、可用性が低下する

A(可用性)



完全性を求めると、可用性が低下する

I(完全性)

「C(機密性)」と「A(可用性)」・「A(可用性)」と「I(完全性)」の対立の中で、現実の問題（運用性、経済性、制約条件）を踏まえた対応が求められる

# セキュリティ対策の種類

個人情報保護法

セキュリティポリシー

個人情報保護条例



体制による  
セキュリティ管理

情報管理体制の整備  
人材育成プログラムの整備

システムによる  
セキュリティ管理

編集・閲覧機能の制限

災害時は時間的切迫性が強く、業務の先が見えない



セキュリティ管理

体制

システム

時間的切迫性

機密性

完全性

可用性



# 「被災者生活再建支援システム」を支える情報セキュリティ



制度

平時からの制度内で対応する  
(個人情報保護条例・セキュリティポリシー)

被災者からの情報利用に関する  
同意を得る

組織体制

既存組織（主税局：地域防災計画）  
で対応

管理局を新規に設置する  
例：復興支援室

既存  
組織  
対応

システム

可用性を確保する  
既存DBを統合可能な  
形で整備する

組織内のセキュリティポリシーに  
準じたシステムの構築